

# 皆様お元気ですか？ お陰様で私達も元気です



# 新フエイム

題字は晶浩の書

編集発行 外山農場 第14号

〒080-2106 帯広市美栄町西6線128  
Tel・Fax 0155-60-2110  
Eメール toyama.2@cocoa.ocn.ne.jp  
<http://www2.ocn.ne.jp/~k2st39ya/>  
協力 (株) ワークボックス (札幌市)

写真右から

## 家族の横顔

四男 晶浩／あきひろ  
(清川中学校一年)  
小学生とは大違いの学習にう  
くん、がんばらねば！  
放課後の部活動（野球）に燃  
えています。

本人 聖子（四十六才）  
亡き夫の跡を継ぎ経営主とし  
て、日々勉強。農業は自分にと  
つて正に“聖業”を実感。

三男 佳裕／よしひろ  
(帯広柏葉高校一年)  
家庭菜園に励んでいます。

次男 剛士／つよし  
(帯広農業高校三年)  
入学時九八kgあつた体重も三  
年間の柔道のお陰で七三kgに。  
おかげで、心身共に鍛えられま  
した。

父 徳男（七十五才）  
腰痛に悩まされながらも頑張  
っています。冬期のスキーが何  
よりの楽しみです。

長男 隆祥／たかよし  
(北海道立農業大学校一年)  
そのほとんどを父の母校であ  
る拓殖大学北海道短期大学（深  
川市）にて学習。一人暮らしの  
大変さを痛く実感、家族のあり  
がたさを感じる日々。

四男 晶浩／あきひろ  
(清川中学校一年)  
小学生とは大違いの学習にう  
くん、がんばらねば！  
放課後の部活動（野球）に燃  
えています。

本人 聖子（四十六才）  
亡き夫の跡を継ぎ経営主とし  
て、日々勉強。農業は自分にと  
つて正に“聖業”を実感。

三男 佳裕／よしひろ  
(帯広柏葉高校一年)  
家庭菜園に励んでいます。

次男 剛士／つよし  
(帯広農業高校三年)  
入学時九八kgあつた体重も三  
年間の柔道のお陰で七三kgに。  
おかげで、心身共に鍛えられま  
した。

父 徳男（七十五才）  
腰痛に悩まされながらも頑張  
っています。冬期のスキーが何  
よりの楽しみです。

長男 隆祥／たかよし  
(北海道立農業大学校一年)  
そのほとんどを父の母校であ  
る拓殖大学北海道短期大学（深  
川市）にて学習。一人暮らしの  
大変さを痛く実感、家族のあり  
がたさを感じる日々。

## お料理メモ

### 南瓜の揚げびたし

材料（4人分）

南瓜	1/4個
揚げ油	適宜
だし汁	2カップ
みりん・しょうゆ	各40cc
	各40cc

### 作り方

① 南瓜は、種とわたを取り、幅4~5mmのくし形に切りよく水気を切っておきます。

### 作り方

② 潰け汁を作ります。鍋にだし汁と調味料を入れて中火にかけ、沸騰したら火を止めます。

③ 揚げ鍋に油を入れ、160~170℃で南瓜を素揚げし、②の漬け汁に浸しただけます。

① 南瓜は、種とわたを取り大きめに切り、蒸して熱いうちに裏ごしにします。（マッシュやでも）

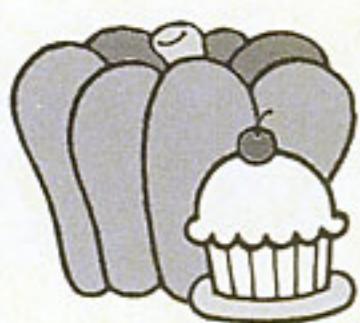
② 砂糖・卵・牛乳をよく混ぜ合わせ、レーズンと①の南瓜を火にかけ練り、バニラエッセンスを加えます。

③ 絞り袋に②を入れてアルミケースなどの容器に絞り出し、180℃に熱したオーブンで、約10分焼きます。（途中卵の黄身を刷毛で塗り照りをつけても）

### スイートパンプキン

材料（4人分）

南瓜（マッシュしたもの）	400g
バター	40g
砂糖	60g
卵	大1個
牛乳	30cc
レーズン	適宜
バニラエッセンス	少々



\*砂糖の分量は、南瓜の糖度によつて加減し、お好みにより②でシナモンを加えててもお試し下さい。

## 農場の産物紹介

### 農場のできごと



当農場は、“土は生きている”をモットーに、有機物循環農法を実践し、3.5・6haの大地に次の作物を栽培しています。

(一)はhaです

秋播き小麦(9.7)  
甜菜(直播)(4.6)

じゃがいも(加工用)

トヨシロ(5.4)

スノーデン(2.9)

カルビーポテト(株)に作業委託しています。

デントコーン(5.4)

近所の酪農家に貸地

ひまわり(2.1)

土作りのため、緑肥作物として大地に鉢込みます。

☆アスパラガス(0.4)

☆スイートコーン(0.1)

☆かぼちゃ(0.2)

☆小豆(1.7)

☆大豆(2.6)

☆金時(0.5)

☆印の作物は、産地直送受け承ります。  
お気軽にお問い合わせ下さい。

5/29  
市内に住む家族四組がアスパラガスの収穫体験。

5/31・6/2

(有)プロットの紹介により(株)八丁味處・串の坊の社員旅行で、約五〇名がアスパラガスの収穫体験と旬の味覚を満喫。

6/1

串の坊社長の主宰する乾会の食に関わるメンバー一〇名がアスパラガスの収穫体験と十勝の食を満喫。

6/26

北海道スローフード・フレンズ帯広主催 子どもに伝え

る部会「親子でスローフード・ランチ体験」inアスパラ畑で、親子や会員、三〇名がアスパラガスの収穫や調理を体験。昼食を囲んで親睦を深めました。詳しくはフレンズ帯広のHPをご覧下さい。

<http://www.slowfood-friends.org/>

7/30  
FM・JAGA(民放ラジオ)の東北関係者五名が、じゅうたんの収穫体験や各種作物を観察。取れたての野菜やジンギス汗で恵みを満喫。

法政大学第二中学校三年生、写真右から大田君・寺杣君・小笠君が“北海道研修”でフームステイ。  
ピートの種草取りやスイートコーンの発送等の作業を体験。お疲れさまでした。

アームステイ。  
ビートの種草取りやスイートコーンの発送等の作業を体験。お疲れさまでした。



とぶつちやけ期待などより、不安や心配の方が大きかつたと思います。

しかし、農場に行つて、手取り足取り親切に全てを教えてくれたので、すぐに外山家になじむ事が出来て、とても安心しました。力にはならなかつただろけど、僕が思つていた“大変な農作業”的手伝いを少し出来たかなあ。

(中略)

どんな事に対してもどんな時も優しく暖かく接してくれたお母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、外山兄弟、古田さん、そして会えなかつたけど確かにそこにいてくださった筈のお父さんありがとうございました。

また、皆さんに是非会いたいと心からそう思います。少しは成長してまた会いに行きたいです。

第二の故郷と思わせていただけたらとても嬉しいです。人の優しさ、暖かさ、農作業のご苦労を学ばせて頂きました。感謝の気持ちで一杯です。どうぞ、皆さんお元気で。

技術の習得等々課題ばかりです  
とは言え、土地や資金繰り、  
農業を捉えており、経験を通しての思いなども教えてくれ、それだけでも勉強になり、ここにこれて本当に良かったと思っています。

吉田琢磨記

寺杣光史君のお便りから  
こんにちは。  
先日は、大変お世話になりました。御座いました。僕にとってすべてが初体験で、新鮮で、一生忘れる事のできない貴重な思い出になりました。

最初「全く知らない土地で、初対面の人と農作業をする」なんて、今まで考えられなかつたので「僕にできるかな?」

### 新規就農を目指して

僕は、市役所を通しての紹介により、五月から外山農場で農業実習をさせてもらっています。

愛車ハーレーに乗つて通つてくれています  
\*農業一年生の私では、反面教師でしかありませんが、むしろ大変助けられ感謝です。



実家は帯広市内にあり建設業を営んでおり、農業は新たな分野と言えますが、高校卒業後昨年より農家の実習をしてきました。当初は、何となくという思いもありましたが、今では新規就農を目指して頑張っています。将来は、有機栽培で各種野菜を栽培したいと思っています。

外山さんは、非常に先進的に野菜を栽培したいと思っています。

## 心の栄養 心地よいひととき

七月の三連休を活かして、お世話になつてゐる実習生の古田君と四人の息子たちと共に上川方面へ研修を兼ねた二泊三日の小旅行をしました。自身時代から交友のあつた高松牧場と野菜博士こと故相馬暁先生の造られた農場に加え、新規就農され有機農業に取り組んでいらっしゃる方々を訪ね、視察させて頂きました。旭山動物園のおまけもつけて。

十勝と比べて、決して条件が良いとは言えない大地を耕し、土を作り種を播き、安全な食べ物を作られる方々に出会い、おかげさまで息子たちと共に多くの気づきと元気をいただく事が出来ました。

当初、キャンプを兼ねてと準備をして行きましたが、お言葉に甘え、大勢で泊めてくださつた高松家と相馬家の皆さんには、本当に心暖まるひとときを過ごさせて頂きました。また、視察先では、初対面にもかかわらず、暖かなまなざしで懇切丁寧に教えてくださいがたく、感激の連続でした。

帰路の車中では、何よりもそのことが話題になり、

未来の原因としての今

あなたの今はどちらですか

返しが出来たらいい  
今度は「農場を訪ねてくださる方々にこのご恩

ね」と意気投合。

今後も井の中の蛙でいる事のないよう、機会を作つて出かけたいと思つています。

お世話になつた皆さま、本当にありがとうございます。本

皆様は、このごろどんな心地よいひとときを過ごされましたか？



## 想いが形になりました

「これまでの結果としての今  
未来の原因としての今  
あなたの今はどちらですか」

「心の風」（シャーラ・ムー）のひとりごとの背表紙に綴られたメッセージが、夫の他界という現実の中で、何度も何度も私に問いかける。

結果を悔やみ嘆くよりも未

来の原因としての今を生きなければ。そして、そのことを夫が何よりも願つてゐるに違いないと自分に言い聞かせた。営農、教育、家庭、地域等々これまで二人三脚でこなしてきた事がどつと私の肩にのしかかつた。その一方で、未来の原因として、夫の追悼集を綴りたいとひそかに想つた。

夫の似顔絵に始まり、おいたちや遺稿集、お世話になつた方々からお寄せ頂いた追憶や弔辞・弔電、聖子の自己史など一四五ページより構成されています。

お読みいただける方がいらっしゃいましたらお気軽に問い合わせ頂ければ幸いです。

もちろん、それは新たなチヤレンジだったが、天空よりも私自身が播種して。

私はやはり幸せもの。感謝。

た家族、あなたの愛した大地が一目でわかるように」との想いが、勇気を授けてくれた。

先輩から真空播種機の操作方法を学び無心に種を播いた。そしてそのことは、ひまわりに留まらず、小豆を。今年は加えて、ビート、大豆、金時を播こうとの想いに繋げてくれた。

一朝一夕に技術力が向上するわけではなく、いつも四苦八苦の連続だが、私自身が種を播き、管理することを選択して本当に良かった思つている。

種を播けば、太陽の大きい恵みを受けてすくすくと成長していく作物たち。稔りを楽しみに待つていてくださるお客様。励ましてくれる家族や多くの方々。

失つたものは計り知れないが、私は確かに大いなる恵みに包まれ生き、生かされている。

『人生には、無駄な事など何一つない』と言うことを聞いた事があるが、確かにそう思える。

私はやはり幸せもの。感謝。

見ている夫に「あなたの愛し

た家族、あなたの愛した大地が一目でわかるように」との想いが、勇気を授けてくれた。

先輩から真空播種機の操作方法を学び無心に種を播いた。そしてそのことは、ひまわりに留まらず、小豆を。今年は加えて、ビート、大豆、金時を播こうとの想いに繋げてくれた。

一朝一夕に技術力が向上するわけではなく、いつも四苦八苦の連続だが、私自身が種を播き、管理することを選択して本当に良かった思つている。

種を播けば、太陽の大きい恵みを受けてすくすくと成長していく作物たち。稔りを楽しみに待つていてくださるお客様。励ましてくれる家族や多くの方々。

失つたものは計り知れないが、私は確かに大いなる恵みに包まれ生き、生かされている。

『人生には、無駄な事など何一つない』と言うことを聞いた事があるが、確かにそう思える。

私はやはり幸せもの。感謝。

見ている夫に「あなたの愛し

## 黒木安馬先生が 深川にやつてくる

生前に父が参加した「北海道土を考える会」で、特別講演の講師として北海道に来られた元JAL国際線乗務員、黒木安馬氏。「面白くなくちゃ、人生じゃない！」と自らコンサートホールつきの豪邸やプール等を造られた。

また、仕事を通して世界の大物達と関わった経験を生かし、成功者の法則を様々な人々と分かちあい共に高め会活動されていらっしゃる。

昨年春、著書を読んで感動し、「是非会いたい、会って話を聞いてみたい。」とその夏、弟剛士と共に氏の自宅で様々な事を学んだ。

そして今度は「北海道に呼んで、多くの方々と共に遊びたい」と願っていた。

進学してからお世話になっている父の短大、派米研修時の先輩で深川に住む谷口氏に「すごい人いる」と黒木氏を紹介したところ、ありがたいことに谷口氏は市民大学の実行委員をされていらっしゃり、早く講演の話題に賛成してくれた。

そして、この十一月中旬。深川市民大学にて講演会が実現

する事になった。

黒木氏とは、その後家族ぐるみのお付き合いをさせて頂いているが、母や弟たちはまだ黒木氏本人に会つたことがない。この機会を生かし、皆で帯広から講演を聞きにやってくる予定で、今から楽しみにしている。

人との繋がりがあつてこそ実現出来たことに感謝している。

お近くの方は、是非、一緒に学びあいませんか！

隆祥記

## 魂に守られて

隆祥編

2/7

日本農業クラブ校内意見発表大会で昨年に続き最優秀賞を受賞。東北海道意見発表大会(別海町にて開催)に参加、「農業の可能性」で三位入賞。

二年連続で参加でき、また、他校の仲間の農業への熱い思いに刺激をもらつた。

パート3 8/23

日本学校農業クラブ全国大会の予選会を兼ねた東北海道学校農業クラブ連盟・技術競技大会に参加。

先に行われた校内の大会で

区大会(高文連十勝支部国際交流専門部主催)にて、昨年に続き最優秀賞を受賞。

「世代を越えて受け継がれるもの」と題したスピーチで全道大会(江別市にて開催)に出場。担任の先生の薦めで聖子も同行。昨年に続いての参加だったが全道の壁の厚さを再認識した。

パート1 6/22~24

道高校柔道大会全道大会(釧路市にて開催)に個人戦八十一kg以下級及び団体戦に出場。

全道の壁の厚さを実感しな

がらも三年間の部活動はよい思い出となつた。特に顧問の先生のご指導に感謝！

パート2 6/30

学校農業クラブ校内意見発表大会で昨年に続き最優秀賞を受賞。東北海道意見発表大会(別海町にて開催)に参加、「農業の可能性」で三位入賞。

二年連続で参加でき、また、他校の仲間の農業への熱い思いに刺激をもらつた。

最も優秀賞に入賞。帯広農業高校で行われた同大会に出場し、最優秀賞を受賞。

一〇月二十六日より岐阜県で行われる全国大会(農業鑑定)に出場予定。

\* 隆祥の「世代を越えて受け継がれるもの」並びに剛士の「農業の可能性」の発表内容は、農場のHPで、ご覧ください。



### 編集後記

幼い頃、母の農作業を手伝いたいと田んぼや畑に出かけた。いつも簡単に見える母の農作業をいざ体験するとすぐにその難しさを知った。

「お母さんって、上手だね。」と言うと母は決まって、「そんなに簡単

に聖子にやられたらお母さんの立つ瀬がないよ。」と笑いながら努力を積み重ねる事の大切さを感じさせてくれた。

息子たちの言葉に母の言葉が重なり、また、スマートがである。

アイトができる。

ただただ感謝。

聖子

親が子を愛するのは、彼が出会う友達、恋人、動物たち、そして将来の自分の子供に最高の愛を表現して欲しいから。

愛は流れるから愛。人から人へと伝わるから愛。

(by M)

